

「官民連携による公共施設の再編・再整備で
行田のまちなかをもっと魅力あふれる
素敵な場所へ！ ワークショップ

日時 | 2026年3月14日(土)13:30~15:30
場所 | 教育文化センター「みらい」2階 第1学習室
参加者 | 21名

ワークショップについて

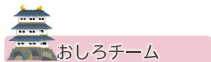
- 行田市では、まちの価値を高め、市民の誰もが利用しやすいサービスを提供することを目指しています。
- そのために、市庁舎、産業文化会館等の、まちの中心エリアにおいて古くなった公共施設を作り直すことを考えています。また、これを機に行田市が持つ土地等を活用して、企業によるサービス提供やお店などをつくることも検討しています。
- ぎょうだの中心エリアにどんなお店やサービス、みんなに役立つものがあたらいいか、市民の皆さまの意見を知り、一緒に考えるのが、このワークショップの目的です。

グループワークの様子

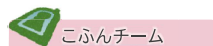
- はじめに、行田市が現在取り組む「学校再編まちづくり」の考え方について説明を行い、本ワークショップとの関係性について理解を深めました。
- つぎに、埼玉県内における行田市の「立ち位置」について様々な角度からクイズを出題し、グループで議論する前の準備体操を行いました。
- グループワークでは、前回と同じ班で実施したこともあり、序盤から沢山の意見が出され、前回以上に活発な議論となりました。また、参加者自身や市民の目線、観光やビジネス利用といった訪問客の目線など、それぞれ異なる立場から必要と考えられるサービス、拠点などについて、皆さんで考えました。
- 行田市長も話し合いの様子を見守り、グループ発表の後は「私が日頃考えていた内容と皆さんの考えが近いことがわかった」「今日の意見も含め、皆さんの考えを大切にしながら取り組んでいきたい」とコメントしました。

ワークショップ全体のスケジュール

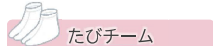
- 第2回
- ①わたしのまち『行田』の自慢できるところは？
 - ②行田の中心エリアでの理想の過ごし方は？
- ワークショップは、全3回の開催予定で参加者を募集しました。第1回は雪の影響でやむなく中止となったため、第2回では時間を延長し、2つのテーマについてグループワークを行いました。
- 第3回
- 中心エリアでの理想の過ごし方を実現するために必要なものは？
- 最終回となった今回は、前回の議論も踏まえながら、中心エリアに必要なサービスや拠点などについて話し合いました。



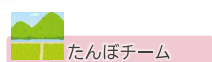
おしろチーム



こぶんチーム



たびチーム



たんぼチーム



ご意見のまとめ

● グループワークで出されたご意見について紹介します。

理想の過ごし方のために必要なもの

- ✓ 平日：市民にとっては勉強や会議などのできる場所が、観光客・来訪者にとってはお土産などを購入できる場所が、それぞれ多く挙げられました。
- ✓ 休日：買い物や遊び・スポーツのほか、市民、観光客・来訪者を問わず「水城公園の活用」が多く挙げられました。また、宿泊や研修に関する意見も見られました。



おしろチーム

平日

休日

勉強

- ・勉強できるカフェ
- ・集中できる環境
- ・おしゃれな雰囲気
- ・誰もが入りやすい自習室

飲食

- ・カフェや居酒屋、安くてメニューの豊富なファミレスでサークル活動やおしゃべり

遊び×仕事

- ・制作会社(ドラマ・映画のロケ地になることを活かす)
- スタジオで写真や動画、編集を教えてもらう教室事業があると良い

遊び・スポーツ

- ・e-sports (認知症予防+シニア世代も楽しめるような教室を希望)
- ・集まれる遊び場(おしゃべりやゲーム、運動ができる場所)
- ・小さい部屋(4~5人単位)
- ・プール(夏暑いため)

買い物

- ・ショッピングモール
- ・洋服、文房具
- ・セレクトショップ
- ・洋服や雑貨などの少し変わったものが買える場所

宿泊・研修

- ・本を読んでくつろいだり、美味しい食事(地元野菜)が出て、市民も使える宿泊・研修施設
- ・サウナや温泉があるおしゃれなホテル
- ・市民は少し安く泊まれると良い
- ・外から来る人が歴史について学べる施設

観光

- ・バスターミナル、物産店、行田名物が食べられるレストランが一体になった施設

交通

- ・観光の足の確保としての周回バス(便数を増やしてすぐ乗れるようにする)
- ・観光プランの案内



こぶんチーム

平日

休日

勉強

- ・学習センター
- ・会議室
- ・放課後自由に勉強できる場所(22時まで友達と一緒に入れる場所)

遊び

- ・スタジオ
- ・貸しキッチン
- ・大声を出したり歌を歌ったりできるカラオケ

遊び・スポーツ

- ・プール
- ・体育館
- ・室内で暑さをしのげるこどもの遊び場
- ・屋外の遊具施設
- ・バスケゴール、テニスの壁打ちができる場所

飲食

- ・放課後に友達と食事ができる飲食店
- ・市民がスポーツするのを眺められるカフェ
- ・ゼリーフライのアンテナショップ
- ・行田のグルメが味わえる施設

買物

- ・友達と買い物をする大型ショッピングモール
- ・あらまちアーケードが活性化すると良い
- ・個別の店舗が集積している場所で回遊したい
- ・食べ歩きをしたり祭りの雰囲気を楽しめるような商店街
- ・観光物産館

宿泊

- ・観光客向けの宿泊施設(城が見える場所)

住む

- ・学生寮

観光

- ・観覧車
- ・駐車場タワーで展望テラス

交通

- ・移動手段としてのバス(中心部~郊外)

市民

観光客・来訪者



たびチーム

平日

休日

市民

観光客・来訪者

買物

- ・スーパー、ショッピングモール
- ・生活用品、特産品

集まれる場所

- ・学生も勉強できる場所
- ・若者がお店を出せるような支援
- ・仕事の交流会として利用できるスペース
- ・昼も夜も楽しめるイベント
- ・コワーキングスペース
- ・自然を感じられる森のようなオフィス
- ・出店ハードルが低い場所
- ・貸しスペース/会議室
- ・市民の手作り作品を販売

飲食

- ・おしゃれりや勉強ができる素敵なカフェ
- ・景色を見てくつろぐ、こどもから大人まで集まれる場所
- ・飲み物がテイクアウトできる
- ・夜はお酒が飲める
- ・家族で利用する食事処(和洋中)

中心となる施設

鑑賞

- ・美術館、博物館
- ・近代建築物(観光+勉強の機会)
- ・古い貴重な建物の再現

その他

- ・入浴施設

公園

飲食

- ・BBQ施設(こどもから大人まで楽しめる)
- ・行田市内の野菜を生かしたレストラン

健康

- ・健康志向層向けの飲食店(デトックスウォーターや行田の野菜ドリンクが飲める)
- ・ウォーキングのイベント+休憩のほか、健康を意識した施設

その他

- ・自然を生かしたイベント、座ってみたいベンチ、落ち着くスペース
- ・歴史のある施設(忍城)を生かした和+モダンな写真映えスポット

スポーツ

- ・家族や若者が楽しめるスポーツ施設
- ・ヨガ

観光

- ・観光案内所
- ・二の丸御殿の再現施設
- ・特産物・土産が買える場所

交通

- ・電車利用の促進
- ・駅から中心地まで歩きたくなくなるような工夫(道を明るくする、花水手並べてフォトスポット化)



たんぼチーム

平日

休日

市民

観光客・来訪者

子ども

- ・子供も行ける場所
- ・小中学生でも安心して夜まで過ごせる場所
- ・小学生が放課後集まれるような駄菓子屋

勉強・作業

- ・屋外でPC作業ができる場所
- ・Wifi環境等が整った場所
- ・勉強ができる広いカフェ

その他

- ・シャッター街をものづくり大生や若者にチャンスを与える場所に活用する
- ・忍城周辺の整備
- ・八幡通りや門前中通りで食べ歩きがしたい
- ・横丁や小道を、蔵の利用によりにぎわいの創出につなげる
- ・ロケ場所を活用して、観光客を呼び寄せる

飲食

- ・行田の名物飲食店
- ・地元のカフェ
- ・友達とゆっくり
- ・気楽にお酒を飲める横丁
- ・おしゃれなカフェで情報交換

その他

- ・ゲームができる施設
- ・大人数が利用できる大型施設

買物

- ・街なかマルシェ
- ・自動販売機の増設
- ・街の駅
- ・シェアショップ

- ・おしゃれな料理が食べたい
- ・自然豊かな所(忍城)でクレープ等が食べたい
- 出店がたくさん欲しい

公園

- ・子供と遊ぶ、散歩
- ・水城公園を使いやすくなるような設備(アスレチック、自販機を増やす等)
- ・駅から水城公園の動線を生かす
- ・水城公園の通りの歩行者天国
- ・水城公園広場に店や遊び場を拡大したい
- ・ふらっと立ち寄れる場所にする

飲食

- ・ご当地グルメ(ゼリーフライ)や軽い食事、お土産が買える場所(さきたまテラスの拡大版)でゆっくりしたい
- ・観光地での食事処
- ・屋台村でおいしい料理とお酒を楽しむ
- ・お土産兼飲食店(小江戸のイメージ)

宿泊

- ・忍城そのものを宿泊施設にする
- ・旅館や忍城の景観等を活用した宿泊施設

本日の感想・今後の要望

※レイアウトの都合上、皆さまからのご意見を一部抜粋しまとめています。ご了承ください。



幅広い世代でのワークショップは今後も必要だと感じました



今回のワークショップで出た要望が1つでも多く実現されますように



全てはできないと分かっているが、できるだけ多くのことが実行されたら、より多くの人が集まってくれると思う